後ろ向き門

本門は、元は大山寺本坊であった西楽院の表門の役割を果たしていました。しかしながら、1875年に寺号廃絶となり神社となった時に、門は奥宮の門を作るために移設させられました。現在の場所に動かされたとき、方向を調整しなかったため、門は後ろ向きになっています。